

第 152 回 計測技術委員会議事録

日 時 平成 28 年 10 月 6 日 (金) 14:00～16:00
場 所 サニー貸会議室 201 会場
出席者 委員長 大谷 (日大)
委 員 内田 (電通大), 河村 (アンリツ)
佐山 (防衛大), 島岡 (産総研)
古川 (横河電機), 布施 (電中研)
幹 事 作本 (日大), 仲嶋 (福山大)
幹事補佐 今池 (日大), 白井 (日電検), 小平 (日電検)

資 料

- 152-1 平成 29 年度 計測技術委員会活動計画二次案
 - 152-2 平成 29 年度 研究会開催予定二次案
 - 152-3 平成 28 年度 計測技術委員会 活動状況
 - 152-4-1 電気学会 計測研究会開催案内 (10 月開催分)
 - 152-4-2 電気学会 計測研究会開催案内 (11 月開催分)
 - 152-4-3 電気学会 研究会企画連絡シート (2 月開催分)
 - 152-4-4 平成 29 年 2 月 計測, 光応用・視覚合同研究会での意見交換会の開催について
 - 152-5 計測技術における研究開発の動向と最前線【解説】
 - 152-6 電気学会 A 部門誌 記事提案用紙
 - 152-7 電気学会 基礎・材料・共通部門 活動資金 申請書
 - 152-8-1 第 4 回テラヘルツ波を用いた非破壊検査技術調査専門委員会 議事録
 - 152-8-2 第 5 回テラヘルツ波を用いた非破壊検査技術調査専門委員会 議事録
 - 152-8-3 第 6 回テラヘルツ波を用いた非破壊検査技術調査専門委員会 議事録案
- Chapter 支援費申請書
計測技術委員会委員名簿
IEEE 主催 2016 年度第 2 回「学生研究発表会」開催のお知らせ

議 事

1. 議事録の確認
 - ・一部修正のうえ承認された.
 - ・P1L35 削除 (『福地委員より』 → 『福地幹事より』)
 - ・P2L22 徴収する見込み → 徴収する案が検討された
 - ・P2L27 研究回 → 研究会
 - ・P2L32 部門発表賞者 → 部門発表賞受賞者

2. 運営委員会報告

大谷委員長代理で出席した今池幹事補佐より説明があった。調査専門委員会の活動報告として、技術報告書の代わりに論文特集号の形式で複数著者による 30 ページ程度のレビュー論文を掲載することも可能にするよう今後議論をする事となった。10 年程度提出されない技術報告書があるため、時効を設ける案について今後議論する事となった。新予算方式に関する議論については特に進展無し。

3. 平成 29 年度活動計画二次案

作本幹事より資料 152-1, 資料 152-2 に基づき、平成 28 年度計測技術委員会活動計画および計測研究会開催予定について説明があった。

- ・ 企画担当を以下のように振り分けた。5 月（白井・作本）6 月（佐山・島岡）7 月（仲嶋・白附）10 月（河村・作本）11 月（福本・大谷・今池）12 月（内田・大谷・今池）2 月（古川・仲嶋・作本）3 月（白井・小平）。
- ・ 研究会テーマの順番の見直しに関する意見が仲嶋幹事より挙げられた。

4. 平成 28 年度活動状況

作本幹事より資料 152-3 に基づき平成 28 年度計測技術委員会活動状況について説明があった。

- ・ 平成 27 年度 Student Award の表彰式を福山大で行うこととした。
- ・ 6 月 8 日（木）に IEEE 第 1 階 Chapter Meeting が行われた。
- ・ 11 月 18 日（金）に JC Meeting 開催される。

5. 開催済みおよび開催予定の研究会について

資料 152-4-1, 資料 151-4-2 に基づき開催済みおよび開催を予定している研究会について説明があった。

- ・ 11 月開催（佐賀大）で産総研藤井氏によるキログラム原器に関する特別講演を行う。
- ・ 12 月開催（福山大）で産総研安田氏による秒に関する講演を行う。

資料 152-4-3, 資料 152-4-4 に基づき仲嶋幹事より 2 月開催の研究会および意見交換会について説明があった。

6. 電気学会 A 部門誌への記事提案について

大谷委員長より資料 152-5 に基づき平成 29 年 1 月号掲載の解説「計測技術における研究開発の動向と最前線」について説明があった。

7. 特集論文について

大谷委員長より 152-6 に基づき、2018 年 5 月号の特集論文企画の説明があった。テーマは「イノベーションを創出する最新の計測技術 2017」に決定した。2017 年 7 月投稿締め切り、2018 年 2 月最終査読締め切りの予定。

8. 申請済み活動資金の変更について

白井幹事補佐より資料 152-7 に基づき申請済みの活動資金の変更について説明があった。開催場所を有馬、開催日を 2 月に変更した届けを提出することとした。テラヘルツ委員会の関係者に講演をお願いしたい。講師の選定を布施委員に依頼した。

9. テラヘルツ波を用いた非破壊検査技術調査専門委員会について

布施委員より資料 152-8-1 から資料 152-8-3 に基づきテラヘルツ委員会議事録の説明があった。第 5 回目以降からは委員外からも講演者を招き情報収集をしていることが報告された。調査結果については、技術報告、論文誌特集号どちらの形式でも提出できるよう活動を進めると報告された。

10. 活動資金について

平成 29 年度の活動資金について、活動計画二次案で費用申請手続を進めることとした。謝金及び交通費として 6 月に 3 万円を申請する。白井幹事補佐が案を作成することとなった。

11. その他

(ア) 論文特集号から学生を除いた講演者でシンポジウム講演を開催する案が挙げられ、ある程度の件数が集まるなら開催してもよいとした。調査専門委員会からシンポジウムを提案する場合、親委員会である計測技術委員会から提案する事が確認された。

(イ) 見学会について平成 29 年 5 月実施の予定で進めていくこととなった。

次回予定

日 時 平成 28 年 1 月 27 日 (金)

場 所 未定